

県の新たな総合体育館「スポーツ・コンベンションセンター」設計者決定!

プロポーザル方式※で設計者の選定を進め、令和8年2月に「梓設計・SUEP・東条設計共同企業体」を最優秀提案者として決定しました。今後は、スポーツ・コンベンションセンターが鹿児島のシンボリックな施設となるよう設計を進めていきます。

※「プロポーザル方式」とは、設計に当たり、技術力や経験、プロジェクトにのぞむ体制などを提案してもらい、最も適切な「提案者(人)」を選ぶ方式です。優れた「設計案」を選定する「コンペ方式」とは異なるため、提案内容がそのまま設計案となるものではありません。

設計者の提案内容

外観イメージ(街側から)

主な評価点

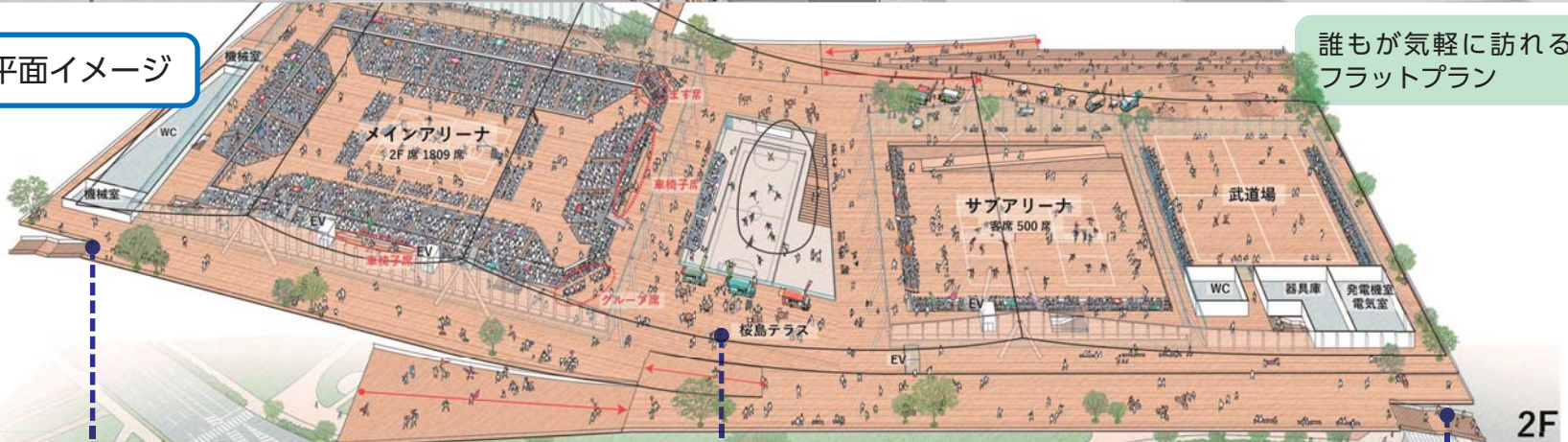
- ・のびやかで魅力的な外観デザインであり、鹿児島のシンボリックな建物となることが期待できる。
- ・吊り屋根の工夫によって桜島の眺望への配慮がなされている。

おおらかな屋根がみんなを受け入れ、いつも賑わう、まちの屋内広場

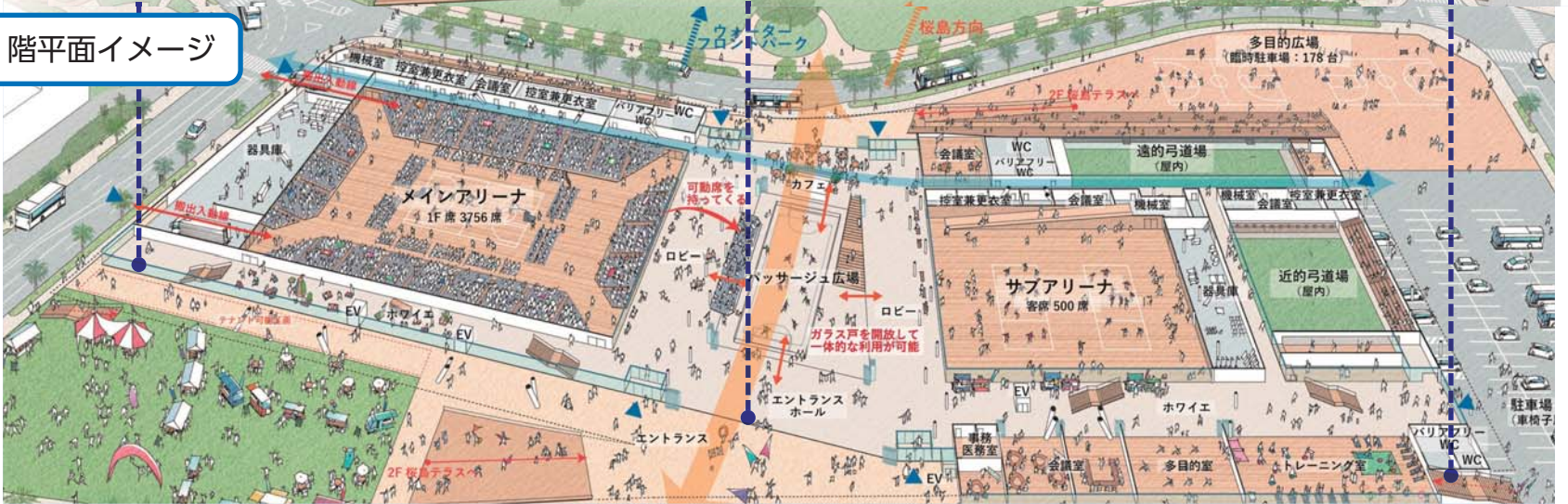


2階平面イメージ

誰もが気軽に訪れるフラットプラン



1階平面イメージ



主な評価点

- ・諸室をフラットに配置することで、メインアリーナとサブアリーナの連携した利用を可能とするなど、イベント等の主催者や運営者にとって使いやすい施設とするための工夫がなされている。
- ・全方位からのアプローチが可能な配置で、建物の正面が中心市街地側に開かれており、県民の皆さまや観光客が気軽に立ち寄れるための工夫がなされている。

メインアリーナ内観イメージ

桜島の絶景をのぞむ世界で唯一のアリーナ空間



サブアリーナ内観イメージ

こども広場としても開放可能なサブアリーナ



《設計期間中(R8年4月～R10年7月予定)の主な取組》

建設プロジェクトに関する高度な専門性を有する事業者の技術的支援を得て、コスト面にも配慮しながら設計を進めます。(コンストラクション・マネジメント方式の導入)

また、例えば、機能性やユニバーサルデザイン、防災、県産材活用のワークショップを開催するなど、県民の皆さまからご意見をいただく機会を設けます。

スポーツ・コンベンションセンターについて詳しく知りたい方はこちら▼

